

令和4年度SDGs社会課題解決型研究再チャレンジプロジェクト公募要領

1.本プロジェクトの背景と目的

大学等の研究成果（技術シーズ）を社会課題解決に結びつけるため、プロジェクトの支援を行い、沖縄県の社会課題解決に向けた研究の強化を行う。

2.申請要件

- ①沖縄県の委託事業「大学発SDGs社会課題解決型科学技術プロジェクト創出支援事業」のヒアリングを行ったプロジェクトでかつ沖縄県の対象外となった分野及び沖縄県の「試験的科学技術プロジェクト」に申請したプロジェクト（採択された場合は、対象外）
- ②本学SDGs社会課題解決研究プロジェクトに応募し、不採択となったプロジェクト

3.応募対象の研究テーマ

沖縄の社会課題として、挙げる次の項目

- 1) 貧困、健康、社会的弱者などに関する課題
- 2) 教育、人材、平和などに関する課題
- 3) 社会インフラ、防災、交通などに関する課題
- 4) 生物多様性、脱炭素社会、持続可能な産業などに関する課題
- 5) 沖縄特有の社会課題について文化、芸術、歴史、言語、哲学、基礎科学などの「知」を活用し、貢献が期待できる分野

4.配分規模

- 申請要件① 一件当たり250万円を上限とする（3～5件程度採択予定）
申請要件② 一件当たり80万円を上限とする（3～5件程度採択予定）

5.申請資格者

本学の常勤教員とし、本学が定める研究者倫理・研究費公正執行教育を受講した者とする。

6.研究期間

採択決定～令和5年3月31日まで

7.申請方法

以下のいずれかで使用した申請書等の内容について当該事業の研究期間内で実施可能な内容へ修正し、指摘事項等があった場合はそれらの対応を行った上で申請すること。

- ①ヒアリングの際に提出した「科学技術プロジェクト案の提案」
- ②先に申請した申請書

提出期限：令和4年11月25日（金）17:00（厳守）

提出先：総合企画戦略部 研究推進課 研究推進係

8. 審査基準と選考

- 次の点に着目し、研究推進機構長が指名する者で構成する審査委員会において、別途定める評価基準に基づき、書面審査により選考する。選考結果について、研究推進会議及び役員会の議を経て、学長が採否及び配分額を決定する。
 - ア. 研究テーマの適合性（研究テーマと社会課題の関連性）
 - イ. 研究目的を達成するための計画性及び手法の妥当性
 - ウ. 経費の妥当性
 - エ. 事業遂行能力（過去の研究業績等）
 - オ. 令和4年度終了時の目標とその後の計画（どのように研究成果を普及・活用するのか）

9. 採択結果の公表

採択されたプロジェクト名、研究代表者の氏名及び職名、配分額の一覧をホームページ等で公表する。

10. 研究成果における謝辞の表示

本経費により得た研究成果を発表する場合は、本経費の助成を受けたことを必ず表示すること。Acknowledgement(謝辞)の記載例は、次のとおり。

【英文】:This work was supported by University of the Ryukyus SDGs Research Project Grant for Rechallenge support program (No. . . .).

【和文】:本研究は SDGs 社会課題解決型科学技術プロジェクト(No. . . .)の助成を受けたものです。

※No.については、別途通知する。

11. 成果報告等

- プロジェクト終了後、1ヶ月以内に経費執行報告書（別紙様式2）、成果報告書（別紙様式3）を提出すること。
- SDGs 推進室によるシンポジウムにおいて、年度中又は年度終了後、研究発表を行っていただく場合がある。

12. その他

- 研究者データベースにおいて、プロジェクトに関連する SDGs の項目を入力し、公開すること。

<申請書提出・問い合わせ先>
総合企画戦略部 研究推進課
研究推進係
内線：2081
e-mail：srpu@acs.u-ryukyu.ac.jp